

全大教新聞

2020年11月10日

第377号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



【PDF版 (全面カラー)】
http://zendaikyō.or.jp/?page_id=107
【電話】03-6802-4250
【HP】<http://zendaikyō.or.jp/>
【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います (一部30円)

今月の紙面

- 2 文科省会見報告 (10月20日)
- 2 記者発表「新型コロナ・労働実態・教育研究状況アンケート」
- 2 「いのちまもる10・22総行動」と厚生労働省提言
- 3 論壇「新型コロナ対応に関するフェイスブック上で大学の教員の交流グループについて」
関西学院大学法学部教授 岡本仁宏
- 3 職場のQ&A SNSを駆使して
旭川高専「これまでと今後のコロナ禍での取り組み」
静岡大学
「地道に活動し続ける」ことの意義
わたしたしむんじゅん
- 4 単組からのレポート

全大教第53回定期大会をWeb開催



2020年10月24日 計98人が出席
(65大学・高専・共同利用機関 65人、傍聴 14人、中執・監査など19人)

2020年度運動方針や特別決議を決定 高等教育の充実、労働条件の改善、持続可能な組織運営に向けて

10月24日、第53回定期大会を開催しました。今回の定期大会は、新型コロナの影響から、当初7月に予定していたものを10月に延期し、オンラインで開催しました。大学・共同利用機関の63単組63人、高専協議会(2単組)2人の代表議員を招集し、65人の代表議員が出席。運動方針案や特別決議案などについて審議・決定しました。

2020年度運動方針案

中央執行委員会から、2020年度運動方針案の提案がありました。
山口大学から3件、東京海洋大学から13件の修正案が出され、中央執行委員会が受入れ(文章修正含む)ものが12件、修正案の取り下げが1件あり、東京海洋大学から出された、文科省からの下取り・出向人事に関する取り組みについての修正案と臨時減額裁判の総括に関する修正案が賛成多数で可決されました。

2020年度運動方針の主なもの

- 充実した教育研究が安全に実施できる体制整備
- 学生が学業を安心して継続できる十分な経済的支援
- 大学の新型コロナ対策と経営状況の改善、在宅・

時差・ローテーション勤務に対応できる業務の見直し
出勤時の感染拡大防止対策
高等教育の充実に関する取り組み
高等教育予算の「選択と集中」に反対し、抜本的な拡充を求めて取り組む
一法人複数大学方式等、政府による一方的な高等教育再編や地方大学切り捨てを許さないために取り組む
教員雇用を不安定化させないよう取り組む

策、在宅勤務の環境整備
業務負担増に対する適切な手当の支給
奨学金制度の抜本的な拡充、「教育を受ける権利」を実現するために取り組む
民主的で公正な大学運営の実現と、法人の自主的な人事制度確立に向けて取り組む
高等教育問題に関する広範な当事者と連携の模索

【労働条件に関する取り組み】
団体交渉・労使関係の充実
2020年人勤対応にあたり、新型コロナ対応への手当要求や賃金改善
有期雇用・パートタイム教職員の労働条件改善
長時間労働、ワークライフ

【組織の拡大・強化に関する取り組み】
組合員の加入促進の取り組み
中長期の組織運営および新型コロナ以降の組織運営について、財政状況に対応しつつ活動の活性化に努める

【組織の拡大・強化に関する取り組み】
全大教の組織強化に取り組む
ホームページ、新聞、SNSを活用して情報宣伝活動の充実をはかる

【組織の拡大・強化に関する取り組み】
全大教の組織強化に取り組む
ホームページ、新聞、SNSを活用して情報宣伝活動の充実をはかる

日本学術会議 会員任命拒否に 関する特別決議

日本学術会議会員の任命拒否に関して、中央執行委員会から、特別決議「日本学術会議会員任命拒否という学問の自由と大学の自治の侵害に抗議する」の提案があり、賛成多数で可決されました。

予算案など

2019年度決算報告、2020年度予算案、規程修正案など、8本(運動方針案含む)すべての議案が賛成多数で可決されました。

メッセージ

次の方々からメッセージをいただきました。

- ・日本私立大学教職員組合連合会
- ・全国公立大学教職員組合連合会
- ・日本教職員組合
- ・全日本教職員組合
- ・全大教顧問弁護団の皆さま
- ・教職員共済生活協同組合および大学事業所
- ・日本国家公務員労働組合連合会
- ・日本医療労働組合連合会
- ・全日本国立医療労働組合